

グローバルな食糧安全保障への対応
エチオピアでは子ども及び妊産婦向けの栄養改善支援を実施

日本政府は、エチオピアにおいて紛争や干ばつの影響を受けている栄養的に脆弱な人々のために、350万ドル相当の緊急無償資金協力を行うことを決定しました。

この無償資金協力は、世界食糧計画（WFP）とのパートナーシップを通じて、緊急食糧支援として実施します。5才未満の子ども38,800人と妊娠・授乳中の女性16,500人に計1,093万トンの特別栄養食品を提供する予定です。

今回日本政府は、ロシアによるウクライナ侵略の影響を受けて悪化しているグローバルな食料安全保障への対応として、国際機関を通じた4,500万ドルの緊急無償資金協力と、日本のNGOを通じた500万ドルの食料支援からなる総額5,000万ドルの食料関連支援を実施することを決定しました。エチオピアを含む世界23か国が支援対象です。

日本は、G7を始めとする国際社会と連携しながら、世界及びエチオピアの食料安全保障の確保のために取り組んでいきます。